

登録コード	T0009900	開講年度	2026				
授業科目	数学科指導法Ⅲ(19T以降)					担当教員	志津 千代子
英文授業名						副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	
講義室	工Ⅱ1-215教室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 3 Tカリ						
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	生徒の発達段階や学習内容の系統性等に則した学習設計と指導ができるようになる。また、数学教育の多様な学習理論や教育方法を学ぶ中で、身近な素材を教材化したり、ICTを積極的に活用したりすることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	これまで提案されてきている数学教育に関わる学習理論や教育方法について、生徒の発達段階と学習内容の系統性（中等教育全体）に則して具体的に考察し、数学教育における指導と内容の一体化について検討する。 ※本授業は中学校免許取得者を対象とするが、中学・高校の接続を考慮し、参考に高校の内容も扱う。						
(5)授業計画	第1回：数学教育における学習理論の概観 第2回：数理論理的思考や認識の発達 第3回：数学教育に関わる教育技術 第4回：教材開発・分析・再構成員について 第5回：身近な素材の教材化について 第6回：数学教育におけるICT活用 第7回：実践演習(1) ――中学校1年生 第8回：実践演習(2) ――中学校2年生 第9回：実践演習(3) ――中学校3年生 第10回：演習(1)～(3)の講評 第11回：実践演習(4) ――高等学校 数学Ⅰ・A 第12回：実践演習(5) ――高等学校 数学Ⅱ・B 第13回：実践演習(6) ――高等学校 数学Ⅲ・C 第14回：演習(4)～(6)の講評 第15回：数学教育の概説とまとめ これまでの学びの振り返りをするために、授業の最後の15分間に授業アンケートを実施						
(6)成績評価の方法	授業での取り組みと、レポートを総合的に判断して評価する。						
(7)成績評価の基準	(i) 講義内容の理解 (ii) 当日に課された課題レポートの内容 (iii) 教材研究の成果 (iv) 実践演習への取り組みやその内容 (v) 発表(プレゼンテーション)の仕方 (vi) 積極性等の授業での取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収し、内容等を含め取り組み状況をチェックする。併せて、取り組み内容について、数名かの受講生に説明をしてもらうので、記載内容についてきちんと説明できるようにしておくことが求められる。また、「実践演習」の授業を受講する際には、事前に該当学年の指導内容についてしっかりと理解を深めておくことが望ましい。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応	講義時間の前後に講義室にて質問・相談を受け付ける。						
(11)その他							
【教科書】	中学校学習指導要領（文部科学省）・中学校学習指導要領解説「数学編」（文部科学省） 高等学校学習指導要領（文部科学省）・高等学校学習指導要領解説「数学編」（文部科学省）						
【参考書】							